

食べるエゾシカの実践として 給食のメニューにエゾシカ肉が登場

なんぷエゾカツカレーの提供が開始された5月15日、幾寅・金山両保育所の給食にエゾカツカレーが登場しました。

この試みは、エゾカツカレー推進協議会の事務局である商工会青年部が、新・ご当地グルメ「なんぷエゾカツカレー」の誕生に伴い、ヘルシーなエゾシカ肉を子どもたちにも味わってもら

おうと、エゾシカ肉を保育所に提供したものです。

子どもたちは、エゾカツカレーに大喜びで、小さな口を大きく開けて食べていました。中には、肉が大好きなので、最後まで残しておいて食べる子どももいるなど、楽しい給食となりました。

保育所では、高タンパクで低カロリーなエゾシカ肉を、今後も定期的に給食のメニューとして活用することとしています。

5月20日には、各小中学校の給食にもエゾシカ肉のメニューが登場しました。学校給食センターでは、エゾカツカレー推進協議会から提供されたエゾシカ肉を調理して、シカ肉カレーとして給食のメニューにしました。

幾寅小学校では、児童の皆さんは、カレーが大好き物のようで、おかわりをする



幾寅保育所

児童もいるなど、とても喜んで食べていました。1年生に感想を伺うと、「シカ肉は苦手だと思っていたけど食べてみたらやわらかくておいしかった。」と話していました。

学校給食センターでは、給食にエゾシカ肉を使用するのは初めてとのこと、各学校の感想を聞いたうえで、今後の活用を検討することとしています。



幾寅小学校1年生

町政への理解と協力を願う

平成20年度出張員会議



町政執行にあたり、町民皆さんの協力を願うことを目的に毎年行われている出張員会議が5月23日、みなくろで出張員の皆さん24名と連合町内会長3名が出席し開催されました。

会議では、はじめに池部町長からあいさつを含めて、町政を取り巻く諸情勢と行財政改革の取り組みや、ポテトチップス製造工場の誘致や森林資源の有効活用をはじめとする農林業の振興、商工業の活性化、自然環境の保全など、本年度に取り組む事業の概要

と、町政執行にあつての所信と基本方針を述べ、各担当課長からそれぞれの所管事項について説明を行いました。このあと質疑応答に入り、出張員の皆さんから「ゴミの分別方法」「住民票請求時の代理人申請」「公共用地内の樹木の伐採」「出張員配布物の省力化」などについて質問が出され、町としての考え方を述べるとともに、今後の町政に理解と協力をお願いしました。

